

# 絆

国立稲門会会報  
2017年6月3日発行  
第3号

## 会長挨拶

国立稲門会々長 扇田 正俊



木々もすつかり  
芽吹き、新緑の葉  
が茂る季節となり  
ました。皆様お元  
気でいらつしやい

ますか。会報「絆」も第3号の発刊となり、順調に推移しているところです。昨年大会長に選任されて以来、あつという間に1年が経ちました。この間、議員会、代議員会、東京三多摩支部会、近隣稲門会の総会やイベントなどに参加し、結構忙しい1年でしたが、校友会の皆様との親交も一層深まり有意義だったと思っております。昨年1年を振り返りますと会報「絆」の1号、2号の発刊、更には昨年10月にはホームページも立ち上がり、情報の共有や伝達

も早くなり、どうか国立稲門会も会則無し、会費無し、名簿無しの三無主義を返上して以来、幹事会や会員皆様のご努力の結果、少しずつ体制が整って来たかなと思っております。

月1回、会員の懇親を深めるための「一木会」や「カラオケ会」も昨年10月以降スタートしましたが、まだまだ参加者も少なく会員皆様の積極的な参加を期待しております。

現在の会員数は95名、平均年齢は70歳を超えています。会員数を三桁平均年齢を60歳台まで引き下げられるには若手の勧誘が不可欠です。そのためには国立稲門会に入会すると普段は聞けない人の講演やイベントに参加出来るといったメリットを出していく必要があるかと思っております。

取敢えず本年度は会員皆様のいろいろな分野での趣味や知識等を語って貰う「蘊蓄の会」の復活を始めとして講演会又はイベントを企画予定でおりますので是非ともご参加ください。

## 幹事長挨拶

国立稲門会幹事長 小野沢 純一

### 1. 国立稲門会会員の皆さま

平成27年度まで国立稲門会では、稲美展（絵画、写真等）、ゴルフ会

稲石会（囲碁）、美術館巡りの4つの同好会と、くにたち市民まつり国立稲門会ブース出展の活動をしてきましたが、近隣稲門会と比較して不活発であると思なされてきました。平成28年度はカラオケの会と一木会（月例懇親会）が立ち上がりました。本年度からは、蘊蓄（うんちく）の会、講演会、女子会、若手の会、年代別お茶会、歌声喫茶の会等を立ち上げていきたいと思っております。

今後も国立稲門会の活性化を図り、同好会を増やし楽しく有意義な活動を展開したいと思っております。会員の皆さまのアイデアと積極的な行動とご支援ご協力をお願い申し上げます。

### 2. ゴルフ会

国立稲門会ゴルフ会は、現在登録会員が10名程度であり、毎年春秋2回の定例コンペと、夏の国立早慶戦コンペを開催してきましたが、会員の高齢化が進み参加者の減少が続いております。本年も、コンペが設定されておりません。近隣稲門会との合同コンペを検討中であります。

### 3. 一木会（月例懇親会）

会員相互の親睦を深めるために昨年6月より月例懇親会（飲み会）を始めました。これまでの参加者を敬称略で紹介いたします。



（国立稲門会）池

田多門、渡邊洋男、下田征男、吉田忠篤、山口達視、和泉喜元、扇田正俊、大石一、小野沢純一、小林正幸、中村春男、鈴木幸雄

荒畑豊、石井葉子、三浦弘幸  
（武蔵野稲門会）諸江昭雄、片岡冬里、篠原哲、山口光朗、田坂忠俊、馬場正彦、（立川稲門会）鴛海量良、以上22名です。

一木会は毎月第一木曜日、午後6時より山内農場国立南口店で開催しております。楽しい会です。予約なしでOKです。ぜひご参加を！

### 4. カラオケの会

昨年は3回のカラオケの会を開催しました。これまでの参加者を敬称略で紹介いたします。池田多門、浜野賢、谷池教子、下田征男、青木祥子、志摩懋、和泉喜元、扇田正俊、小野沢純一、鈴木幸雄、荒畑豊、丸山孝、以上12名です。

今後も適宜続けていきたいと思っておりますので、健康増進のためカラオケ好きの方々の積極的な参加をお願いいたします。

## 活動報告とお知らせ

### 【忘年会】

副会長 鈴木 幸雄



恒例の国立稲門  
会忘年会が平成28  
年12月11日(日)  
午後5時より中華料  
理店「長江菜館 国  
立天賜閣(国立市中  
1の8の9田中ビル  
2F)」において会員22名の参加のもと  
で開催されました。

忘年会では恒例となりました参加者  
全員による自己紹介を行いました。今  
回は平成23年卒および平成27年卒の  
フレッシュな会員にも参加いただきました  
ました。また、忘年会に出席してその雰  
囲気を見て会員になるかどうかを決め  
たいという方にも参加いただき、会の  
途中で「会員になります」との宣言を  
していただくなど、多いに盛り上がり  
ました。初参加の会員の方々にとつて  
も身近に感じていただけたと思います。  
例年ですと、フルートやサクソフォ  
ンの(迷)演奏で盛り上がるところです  
が、会場内には一般のお客様もおりま  
したので演奏はできませんでした。と  
はいっても、最後は校歌「都の西北」  
の大合唱となり散会となりました。  
参加者は以下の通りです(敬称略)。

住野和久、浜野賢、谷池教子、渡邊洋  
男、下田征男、諸田志郎、常盤七郎、  
石井昌浩、青木祥子、志摩懋、和泉喜  
元、扇田正俊、三浦弘幸、小野沢純一、  
安原正義、鈴木幸雄、荒畑豊、石井葉  
子、丸山孝、羽島尚志、渡部真大、平  
野真琴

### 【総会開催のお知らせ】

第41回総会を以下の通りに開催い  
たしますので、多くの皆様にご参加い  
たきますようお願い申し上げます。  
日時：平成29年6月3日(土) 午後5  
時より、(終了は午後8時頃を予定)  
会場：E S O L A ホール(国立せ  
きやビル)1階 国立市中1の9の30  
会費：5千円

※今回より会場を変更しております  
ので、お間違えのないようお願いいた  
します。

### 【美術館巡り】

平成28年11月20日(日)「錦秋の御  
岳溪谷散策と美術館巡り」を計画しま  
したが、参加者が2名だけで、さらに  
「御岳溪谷にクマ出没」の情報もあり  
ましたので中止しました。  
そこで、本年6月18日(日)に「百草園  
と小島善太郎記念館巡り」を開催いた  
します。

百草園ではあじさいが見頃ではない  
かと期待しています。また、小島善太

郎記念館は美術館ではありませんが、  
小島画伯が晩年を過ごした居宅のアト  
リエに作品が展示されており、制作時  
の空気を感しながら作品を鑑賞でき  
ると思います。なお、当日は画伯の次女  
である小島敦子さんが来てくださる  
お茶をいただけるかもしれません。  
歩く時間は「トータル」時間程度です  
が、きつい坂道と山道がありますので  
ご注意ください。

開催日時：平成29年6月18日(日)  
午前9時10分集合  
集合場所：南武線「谷保」駅改札口(又  
は京王線「百草園」駅改札口に9時35  
分)

入場料等：600円(別途昼食代)  
コース等：百草園駅 ↓ 小島善太郎  
記念見学 ↓ 京王百草園散策 ↓  
手打蕎麦むら岡昼食  
百草園駅(13時着)

申込先：鈴木まで以下のいずれか  
の方法でお申込みください。

Tel 042 572 1801  
携帯 080 6724 1801  
✉ [sbhq263@aeauone-net.jp](mailto:sbhq263@aeauone-net.jp)  
申込期限：平成29年6月10日(土)

## 蘊蓄の会についてのお知らせ

副幹事長 和泉喜元

国立稲門会の皆さん、蘊蓄(うんち  
き)の会を開催いたしたく、お知らせ  
いたします。

蘊蓄の会は、趣味・経歴・経験・研  
究発表・楽器演奏などを発表してい  
ただく会で、会員皆様に講師になっ  
ていただきます。

この蘊蓄の会は実はかつて国立稲門  
会で実施されておりました。

大変評判の良い会で、立川や八王子  
の稲門会からも参加者があつたと聞  
いております。

この伝統ある行事を再開いたしたく、  
国立稲門会の皆様の講師及び会合への  
参加を呼び掛ける次第です。

開催日・場所・参加費につきましては  
は改めてお知らせいたします。

かつて講師をしていただきました各  
階の著名人や稲門会会員の方々は多岐  
にわたっており、大変盛況でした。国  
立在任の山口瞳氏も講師としてお話を  
していただいたことがあります。

講師の方は国立在任の方にはこだわ  
りませんので、お知り合いの方がいら  
っしゃいましたら是非ご紹介をいた  
きたいと思っております。

お隣の立川稲門会では同じ趣旨で  
「談話室」という企画名で実行されて  
います。

幹事 石井めぐみ



ホームページは「国立稲門会 n e t」で検索できます。稲門会の活動の紹介、市民祭、一本会、ゴルフ同好会、国立稲美展などの様子も掲載しています。

今後は会員の紹介ページなども作りたいと思っていますので、ご意見をいただければ幸いです。会員登録のページもありますので、ご利用とみなさまへの告知をお願いいたします。

第47回くにたち

秋の市民まつり

幹事 荒畑豊

昨年の第47回くにたち秋の市民まつりは、11月6日(日)に行われ、「早稲田大学国立稲門会」も大学通り西側の緑地帯の好位置に出店し、地ビール早稲田を販売しました。

国立稲門会の会員増 特に若い校友

の会員獲得を下心に(?)市民まつりへ初めて参加したのは2012年ですが、それから5年、諸先輩の尽力が実り、還暦を迎えたばかりの若輩である私が、光栄にも笑本年から市民まつり担当幹事を仰せつかりました。

まつりは1日限りの催しですが、実行委員会等の会議は夏から始まり、当日までの道のりが結構長かった感がありました。

準備段階でのメインイベントは、前夜のテント張りです。6本ある各支柱に1人ずつ張り付き、6名で一気には屋根を持ち上げなければならず、直前まで人数が集まるか正直ヤキモキしましたが、あと1人というところで中村さんが名乗り出てくださり、内心ほっとしたのを今でもよく覚えています。

浜野さんがフリーハンドで作図された施工図が大変精緻で、テント初心者の中でもよく理解できましたが、諸先輩の豊かなご経験に裏打ちされた洞察力と年齢を感じさせない作業力には目を見張るものがありました。

手持ちランプの灯の中でのテント設置とまつり終了後のテント撤収に協力してくださった校友のご協力にこの場を借りて心から感謝申し上げます。

このテントは、会計幹事の秋田さんのご厚意により提供していただいたものです。参加当初は慶應義塾大学三田

会に同居させていただくことを検討しただけで、このテントがなければ市民まつりに参加できなかったと先輩から伺いました。テント内のテーブルや椅子も秋田さん経営の金文堂文具店が貸し出してくださっています。



また、地ビール早稲田を手配してくださった和泉さん、それらの冷蔵と当日の冷却用ボックスや様々な消耗品を用意してくださった扇田

会長、テント内展示写真を提供してくださった吉田さん・下田さん、お忙しいなかで写真を撮ってくださった石井さん、校歌や応援歌で盛り上げるためCDプレイヤーを提供してくださった鈴木さんを初めとして、本当に多くの校友に支えられてこの出展が成り立っていることを痛感した1日でした。

なお、当日は友好団体である明治大学国立支部支部長、中央大学国立白門会会長、さらには武蔵野稲門会幹事長が表敬訪問されたり、中央大学国立白門会とブースがお隣同士であったため、同会恒例のいそべ焼きをこ馳走になりましたので、当会も答礼に地ビール早稲田を振る舞いました。

地ビール早稲田の販売はその日の天候に左右されることもあり、毎年悩み

どころですが、おかげ様で昨年は好天に恵まれ、用意した72本が午後1時前に完売となりました。

今年の第48回くにたち秋の市民まつりは開催日がまだ決まっていないようですが、いずれにしても「早稲田大学国立稲門会」として参加する予定です。国立及び近隣在住の校友の皆様はぜひお立ち寄りください。

最後になりましたが、大学の資料やポスターを提供していただきました総長室校友会へご担当に心から御礼申し上げます。

会員紹介

国立稲門会会長 扇田正俊

昭和18年の樺太生まれです。北海道空知郡上富良野町を経て国立に来たのは昭和23年で約10年のブランクを除いて60年余り国立に住んでいる年寄りの「くにっこ」です。国立第3小学校、国立第1中学校、都立国立高校、昭和43年早稲田大学理工学部資源工学科卒です。高3の時に秋吉敏子のジャズピアノを聴いてモダンジャズに夢中になり予備校時代も新宿のジャズポットに入りびたりで気がついたら2浪でした。

大学のクラブは早稲田大学モダンジャズ研究会(通称ダンモ研)で演奏部を

目指したのですが当時はレベルが高く諦めて鑑賞部に入りました。同期には当国立稲門会に昨年入会してくれたジャズ評論家の小西啓一こと小西勝明君、1年後輩にタモリこと森田一義君がおります。当時の一番の思い出は1966年7月に来日したジョン・コルトレーンの東京プリンスホテル共同記者会見の後、私達が主催したインタビューです。翌年亡くなったのですが演奏を含めて強烈な印象でした。そしてロバート・キャパに憧れて入会した早稲田カメラポルタージュ研究会にも属していました。第一次早大闘争のストライド構成映画制作と大隈講堂での上映会などが思い出されます。

学園紛争で卒業式も無いままセメント会社に入社し、研究所で自分が開発した商品の事業化を担当、その後定年まで新規事業部門担当でした。

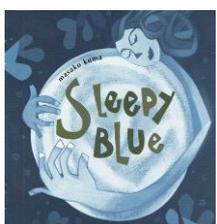
事業化した主なものとしては、セメント系固化材の開発と販売があります。セメント系固化材とは軟弱地盤を固めるセメントで羽田空港拡張工事等多くの現場で採用されました。同時期に地盤改良分野の設計コンサルタント会社と工事会社を設立し建設業界相手に、いわゆる「接待(ごち)」で午前様が続く毎日でした。

昨年話題になった博多駅前陥没事故で埋め戻しに使われた「流動化処理土」

は20数年前に「建設発生土の有効利用」をテーマに技術屋仲間と開発したものです。当時約1億円の流動化処理土供給プラントを建設し都営12号線現地下鉄大江戸線の現場に収めて以来、鳴かず飛ばずだった技術が脚光を浴びたのは感慨深いものがあります。

その他コンクリート分野では某ゼネコンと共同でフランスから技術導入した鉄と同等の強度の特殊コンクリート「ダクタール」の事業化でパリには何度か出張し、楽しい思い出もありました。60歳で定年後コンクリート製品会社に再就職、70歳で完全にリタイアしました。

従兄弟には早稲田大学でも現代演劇の講座を持っていて一昨年急逝した演劇評論家の扇田昭彦がおります。昨年亡くなった蜷川幸雄さんが車椅子で通夜に参列戴いたのが思い出されます。



趣味の分野ですがジャズを聴くだけでは飽き足らず2007年にジャズボーカルのCD「Sleepy Blue」をプロデュース、つい最近までamazonやディスコユニオンで購入出来ました。まあまあの評判でスイングジャーナル誌では3星半をもらいました。オーディオ関連はジャズ中心で相

変わらずアナログのレコードを聴いています。最近ではパソコンオーディオで最新のハイレゾ音源にも興味を持っています。

フィッシングでは若い頃は海釣り、溪流釣り、鮎の友釣りとオールラウンドで何でもやりましたが最近はおっぱら鮎の友釣りに特化しています。鮎の友釣りは麻薬みたいで一度始めるとその魅力にはまってしまう。ただ、結構体力を使うので足腰を鍛える目的でNHK「ためしてガッテン」で紹介されたスロージョギングで大学通りとさくら通りを週3〜4回は走っています。



その他の趣味では洋ランとバラ中心の家庭園芸です。洋ランの栽培は難しいイメージがありますが水のやりすぎ等が枯らす例が多いようです。仕事が忙しくてあまり面倒が見れない時期の方がかえってうまくいっていたようです。バラは殺菌殺虫が不可欠で手間がかかりますが見事に咲いてくれた時は喜びもひとしおです。

サラリーマン時代は仕事の忙しさにまけて国立の自然や環境にはまったく無関心でしたが定年後は6年間過

ごしてきた国立に愛着が沸き、現在は「花と緑の検討会」というボランティア団体に所属し活動しています。主として大学通りの駅前商店街緑地帯の花壇作りで小中学生と夏にはベゴニアやインパチェンス、冬にはパンジーやチューリップを植え、そしてメンテナンスを行っています。

かように趣味も比較的多いほうでリタイアしてから結構忙しい日々を送っています。会員の皆様とは昔の仕事がらみでも趣味の分野でもお気軽にお声を掛けて頂き親しくお話をしたり、何かと一緒に出来ればと思っておりますので今後ともよろしくお願い致します。

### 編集後記

副会長 三浦 弘幸

今号で、総会の案内が掲載されておりますが、「絆」3号の皆様への配布が総会当日になりました。

皆様への実質的な案内は別途手紙でお知らせしておりますのでご了解ください。

会報「絆」はまさに手作りの会報ですが、毎号工夫を重ねてまいります。原稿なくして会報はできません。皆様のご協力をよろしくお願いたします。